



第312号

発行

浄土真宗  
心光寺

奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086) 420-1311



# 自分に出会う旅

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年の冬は暖冬で大根や白菜が豊作だそうです。皆様お正月はいかがお過ごしでしょうか。

愚僧も門徒（檀家）さんにお裾分けしていただいた甘いミカンやリンゴをいただきながら、松の内を過ぎます。愚僧も満67歳になりましたが、最近の果物は糖度の成分が高く、子供の頃に食べたミカンやリンゴの何倍も甘い気がします。栽培者が品種改良をして糖度の高い果物を販売し、競争に勝とうとするのも良いが、甘い果物の樹には虫が集まり樹を食べたり、鳥も実も食べるので、農薬をしっかりと撒くようです。甘くても農薬漬けの果物だとしたら、恐ろしいですね。

昨年の9月5日に、昭和を代表する女優で「東京物語」「青い山脈」などで知られる原節子さんが95歳で死去。11月30日には「ゲゲゲの鬼太郎」などの作品で知られる漫画家の水木しげるさんも93歳で死去。また12月9日には「火垂るの墓」などの小説で知られる野坂昭如さんが85歳で死去しました。3人とも太平洋戦争を体験し、水木さんは兵隊に召集され現バプアニューギニアのラバウルへ行き、上官のイジメやマラリアに苦しみ、米軍の空爆で左腕を失いました。野坂さんは1945年、少年時代を過ごした神戸で空襲に遭い、養父が死亡。その



カット：本多紘子

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

後、疎開先の福井で義妹が栄養失調で亡くなっています。過酷な戦争を体験した人たちが、この世を去っていくのは寂しいことです。

2015年の世相を表す今年の漢字が「安」に決まり、日本漢字能力検定協会が15日、京都の清水寺で発表しました。「安」は安全保障関連法案の採否をめぐる国論を二分した点や世界で続発したテロ、マシンの杭工事データ偽装で人々を不安にさせたことが理由だそうです。2位は「爆」ですが、中国人の日本に来てたくさん品物を買って帰る「爆買い」からだそうです。

12月6日朝、福岡・博多港に入港したアジア最大のクルーズ船「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」全長348メートルの巨大な船体から中国人旅行者が岸壁に下りてきた。もう一隻と合わせた計七千人の乗客は、182台の観光バスに分乗。太宰府や免税店を巡りました。買い物袋には美顔パックや血圧計、ルイ・ヴィトンのバッグ、炊飯器や医薬品を「爆買い」する。福岡への訪日クルーズ客は昨年100万人を突破し、中国の観光客は、いまや日本経済を支える柱の一つです。

敗戦の焼け跡から、経済大国に復興を遂げた日本人の原動力は、豊かさへの夢でした。買物物の魅力を知った中国人の姿は、かつての私たちに重なる。成長の峠を過ぎた日本の若者は、親世代のようにモノを買わない。モノがあることが煩わしく感じる世代なのだ。豊かさの意味を真剣に考え出している若者が増えてきているのです。

善導大師の『観経疏』の「定善義」に、「いざ帰りなん。魔境には停まるべからず。曠劫よりこのかた流転して六道悉く皆へたり。到る処に余の樂なし。ただ愁歎の声のみを聞く。この生平を畢えて後、彼の涅槃のみやこに入らん」とあり、西方の浄土を慕っています。

モノの豊かさや便利さだけを追い求める世界は魔境です。どんなに幸せに見えてもいたわりや思いやりの心を失った世界は餓鬼や畜生の世界です。どこに行っても不安と歎きでいっぱいです。本当の心の豊かさを求め、涅槃のみやこを目指し生きようよ。合掌（奥原 曇龍）

「初春や涅槃のみやこ目指そうよ この世の旅は自分に出会う旅」 どんりゅう

## ともしび説法

日時・一月 一日「金曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
二月 九日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
場所・倉敷市早高 426 新本堂  
電話 086-420-1311



カット：奥原 唯



# 法然上人ものがたり(61)

善人も悪人も、阿彌陀仏の浄土に生まれたいと願うならば三心が必要であると、上人は善導大師の説をもとに述べています。

三心とは至誠心、深信心、廻向発願心のことです。至誠心とは、真実の心であり、まことの心であって、純なまじりけのない清い心です。身の振る舞いも、口に言うことも、心に思うことも、みな人目を飾ることなく、内外が相応している誠の心のことです。

深信とは、何ごとをも貫徹してやるぞという底力のことであり、こうすれば必ず目的を達することができるというまっしぐらに深く信ずる心のことを言います。常に自分を反省し、自己に奢らず、自分は弱い身である、無力であると深く反省したとき、偉大な尊敬すべき阿彌陀仏に心を傾けることができ、自然に念仏が口をついて出てきます。この愚かな我が身を仏にまかすことが深心なのです。

廻向発願心とは、阿彌陀仏にこの身をまかせ、過去に積んだ善根も、この世でなした善も、そのすべてをふり向け、まことの心、深く信ずる心をもって、浄土に往生したいと願う心のことです。

「心と行」、つまり心と実践がともなうて、ゆるぎない心の信仰の確立こそが安心であり、三心をもって安心としています。

分かりやすくいえば、身をもって阿彌陀仏を礼拝し、口で阿彌陀仏を讃めたたえ、心でひたすら阿彌陀仏や浄土に思いをこらし忘れないことを至誠心。我が身は煩惱を具えた愚か者で、欲と物と心の世界をさ迷い、自分の力では煩惱から逃れることができないと反省し、阿彌陀仏の名をたとい十声・一声でも称え、必ず救うという誓いを信じ、疑う心の無いことを深信。自分がなしてきたすべての善をふり向けて、浄土に往生したいと願う心を廻向発願心と呼び、阿彌陀仏を一心に憑むことを、三心と呼ぶのです。合掌(奥原曇龍)

初日の出笑顔で感謝人生に 挫折も光らす命のともしび 田辺多恵子



11月3日 秋の報恩講法要にて(法中かた)

## ともしび法話

明けまして南無阿彌陀仏  
真つ白な新しい年が始まり、本年も「生きる意味 死に行く意味」を皆様方と共に深く考えながら歩みたいと願っています。除夜の鐘に引き続いての元旦説法、またお寺の新年会と皆様をお待ちしています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

謹賀新年  
「大丈夫、心配するな。何とかなる」。トランチの、一休さんの言葉です。今年も楽しみながら学び、ああでもない、こうでもない、失敗を恐れず前に進みたいのです。 倉敷市早高 養田れい子

今年の冬は、暖冬が続く動きやすくて助かります。今年も悲喜こもごもでしたが、辛いこと心配事があったときは、曇龍先生の「大丈夫」を思い出し頑張っています。 岡山市中区国富 津田 一郎

「若いときの苦勞は買ってでもせよ」と昔に言われましたが、若いときの苦勞は、いつか花開いて良いことがあるものです。 倉敷市福島 松本 和子

## ともしび説法

日時・一月 一日「金曜日」 午後一時から午後四時頃まで  
二月 九日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定  
三月 九日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。  
四月 十七日(日)・午前十時半から午後四時頃・春の永代経。  
午前・子供のハンドベルと親父バンド演奏 午後・法要儀式。  
☆『ともしび』を平成18-20年、平成21-23年、平成24-26年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

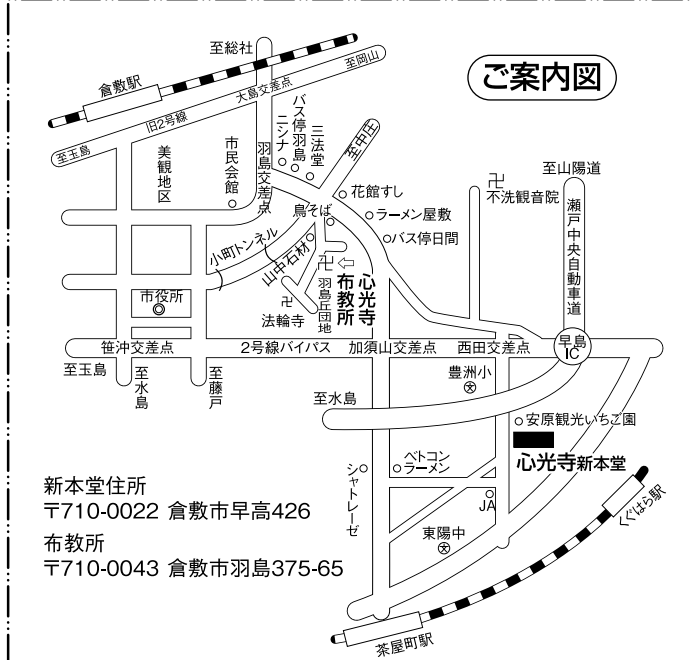


## うしろの詩

初日の出に手を合わせ  
今年も一歩一歩を大切に  
大地を踏みしめて歩みたい  
心配ない 大丈夫だ  
自分を信じる自信が生まれる  
人生は不安との戦いだ  
不安が人生を切り開く



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。  
倉敷市 高橋様 林様 三千円  
倉敷市 杉本様 岡山市 津田様 四千円  
倉敷市 竹内澄子様 五千円  
岡山市 国垣修子様 藤岡秀男様 一万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「312号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には茶屋町駅に12時35分頃、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。 合掌 総代長 三村健